

園芸ハウス及び畜舎の複合環境制御システム整備にかかるプロポーザル実施要領

令和2年7月1日
宮崎県立農業大学校

1 目的

施設園芸分野では、近年、ハウスの複合環境制御システムを利用した二酸化炭素施用や飽差制御により飛躍的に収量を伸ばす農業者が出てきており、施設園芸のスマート農業技術として耳目を集めている。

また、畜産では大型の閉鎖型畜舎用の環境制御システムが導入され始めており、特に本県では、県畜産試験場が開発した乳牛の不快感指数に着目したヒートストレスメーターが酪農家に導入されるとともに、この不快感指数を活用した複合環境制御システムも開発されている。

このため、本校の野菜・花きの園芸ハウス各1棟を複合環境制御に対応できるハウスに改良し制御システムを導入するとともに、搾乳牛舎1棟を不快感指数を活用した環境制御ができるよう改良し、複合環境制御システムを導入する。

この整備に当たっては、施設園芸ハウス用の複合環境制御システムは、多くのメーカーが発表し普及が進んでいる一方で、畜舎の不快感指数を活用した複合環境制御システムは試作品段階で開発が止まっていることから、同様に園芸ハウスの室外の気象を計測しながらハウス内の環境制御を行う園芸用システムの応用や県外メーカーのTHI制御システムの活用も含めて、企業からの提案を受けた整備が必要になっている。

以上のことから、本整備については、システムメーカーとハウス・畜舎整備事業者で構成するコンソーシアムからの企画・提案を受けるプロポーザル方式により行う。

2 整備業務の概要

(1) 業務名

「宮崎県立農業大学校園芸ハウス・畜舎複合環境制御システム整備」

(2) 整備の概要

① 整備の内容

別添「宮崎県立農業大学校園芸ハウス・畜舎複合環境制御システム整備仕様書」のとおり。

② 整備の事業名及び予算

- ・ 農業人材育成総合拠点強化事業（国事業名：農業経営者育成教育事業）
- ・ 予算 18,984千円

③ 制御システム稼働予定時期 令和3年1月

3 整備事業者選定方針

次の要件を満たす事業者に整備を発注する。

- ① 発注仕様書に定める内容を満たす事業の実施が可能な事業者
- ② 業務執行体制が万全であり、履行可能な能力を有する事業者
- ③ 将来に亘って制御システムの運用をサポートでき、万一サポートできなくなってきた場合にシステム承継に万全の協力を行う事業者

4 整備事業者の選定方法

- ①選定方針に合致する事業者を選定するため企画コンペを実施する。
- ②企画コンペの提案内容及び業務執行能力等について審査し、最も優れた企画を提案した事業者を整備事業者として選定する。

5 書面による企画コンペ参加資格要件

次に掲げるすべての要件を満たす者であること。

- ①地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4第1項の規定に該当しない者
- ②地方自治法施行令第167条の4第2項の規定により競争入札への参加を排除されていない者
- ③宮崎県が行う指名競争入札に関する指名を停止されていない者
- ④国税・県税及び市町村税について滞納していない者
- ⑤当該業務に類する豊富な実績を有する者

6 書面による企画コンペの実施方法

(1) 企画コンペの公募

令和2年7月8日

(2) 現地説明会の開催

①開催時期・方法

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から令和2年7月13日(月)から7月28日(火)の間に、個別に現地説明会を受け付けます。

②申し込み方法

・別紙の申込用紙を、宮崎県立農業大学校 教務学生課 山本・平川まで、電話・ファックス・メールにて送付してください。

・送付先

tel. 0983-23-0120 fax 0983-22-2529

mail : yamamoto-taishi@pref.miyazaki.lg.jp

(3) 企画提案書・見積書の提出

企画コンペに参加を希望する事業者は、別添様式「企画提案書」及び施設毎の「見積書」(様式不問)を下記により提出してください。

なお、期日までに提出がない場合は、コンペに参加することができません。

①募集期日 令和2年7月28日(火)～令和2年8月14日(金)

②提出方法 持参・郵送・メール(期日必着)

(4) 審査のポイント

審査は、実際にシステムを利用する教員等が、

①能力(整備水準・整備の遂行能力)

②コストパフォーマンス(システムの使いやすさや故障への対応、整備後のランニングコスト)

③施行体制(整備の施行及び施工後の保守管理体制)

④意欲(園芸温室・畜舎の複合環境制御に対する考え方や姿勢)

等について評価を行います。

(5) 企画提案書の作成要領

1) 記載方法

イメージ図やフロー図等を用いて、専門知識がない者でも判り易いように記載してください。

2) 書式

- ① A4版縦向き(横書き・左綴じ)を基本としますが、必要に応じて用紙を使い分けてください。
- ② ページ数の指定はしませんが、要点を判りやすく記載してください。
- ③ 文字フォントはMSゴシックの12ポイント以上を使用してください。

3) 構成

以下の構成を基本とします。

① 複合環境制御システムの基本方針

※提案内容のポイント等を簡潔に記載してください。

② 企画提案の概要

a) 施設野菜・花き用複合環境制御システムの機能及び整備の考え方

※老朽化した施設をどう再整備し、どのような環境制御を実現するのかが判るように記載

b) 畜舎用複合環境制御システムの機能及び整備の考え方

※老朽化した施設をどう再整備し、施設野菜等に導入するシステムを改良し実装することで、どのような環境制御を実現するのかが判るように記載

c) 複合環境制御システムの運用・メンテナンス・セキュリティ対策

※遠隔制御やエラーアラーム、データ保守対策等が判るように記載

d) 複合環境制御システムの拡張性

※施設園芸ハウス・畜舎共に、今後、複合環境制御システムや環境センシング等の導入・拡張を進めることとしており、今回整備するシステムの拡張性が判るよう記載

e) 複合環境制御システムの維持管理体制

※故障や誤作動に対するフォロー体制が判るよう記載

(6) 企画コンペにかかるプレゼンテーション

① 日時 令和2年8月28日(金) 13時10分から (詳しい時間は個別に連絡予定)

② 場所 県立農業大学校 本館会議室 (プレゼンテーションの順番は申し込み順とします)

控え室は、本館講師控え室を用意します。

③ 実施方法

a) 参加者には、企画提案書・見積書に基づいてプレゼンテーションを行っていただきます。補足資料等がある場合には事前に送付いただくか、当日10部お持ちいただきます。パワーポイント・スクリーン等はこちらで用意しますが、紙媒体で提出された資料と同一内容のもののみとします。

b) プレゼンテーションの時間は、1社あたり30分(説明20分・質疑応答10分)以内とします。

c) 委託事業者の決定は、審査により総合的に評価した後に決定します。

d) 企画コンペの結果は、プレゼン終了後速やかにメール及び文書で通知します。

8 その他・留意点等

- ①提出書類・ファイルは返却しません。
- ②提案内容に含まれる著作権や特許権等については、本企画コンペのみ参照することとし、その全てを秘守義務の対象とします。
- ③現地説明会や資料作成など企画コンペに要した費用については、全て申請者の負担とします。

<問い合わせ先>

宮崎県立農業大学校 教務学生課 山本・平川

tel. 0983-23-0120 fax 0983-22-2529

mail : yamamoto-taishi@pref.miyazaki.lg.jp

別紙

令和2年〇月〇日

宮崎県立農業大学校長 様

企業名(コンソーシアムの代表者)

宮崎県立農業大学校園芸ハウス・畜舎複合環境制御システム整備業務にかかる
現地説明会への参加について

標記業務の現地説明会に参加します。

- 1 現地説明会 希望日時 (調整を行いますので複数記載願います)
第1希望 令和2年〇月〇日 〇時～〇時
第2希望 令和2年〇月〇日 〇時～〇時
第3希望 令和2年〇月〇日 〇時～〇時
- 2 現地説明会参加人数 〇名

連絡先等

担当者氏名

電話番号

mail add.